

がん検診を受けてすこやかに

～津山市医師会～

「がん検診 愛する家族への 贈りもの」この言葉をご存知ですか？平成 21 年 7 月 9 日に厚生労働大臣による「がん検診 50%推進本部」が設置され「がん検診受診率 50%以上」の目標達成に向けた取り組みの一環として作られたキャッチフレーズです。

“がん検診”という言葉自体聞きなれないかもしれません。

“がん検診”は自治体において比較的少額の自己負担（個人によっては、あるいは検診によっては無料となる場合もあります）で受ける事ができる制度です。



“がん”は他人事だと思っていないですか？「自分だけは“がん”にはならない」そう思っている方は結構おられます。本当にそうでしょうか？“がん”は昭和 56 年より我が国の死亡原因第 1 位となり、現在では年間 30 万人以上の方、即ち国民の 3 人に 1 人が“がん”でお亡くなりになっています。では“がん”に罹らないようにする事は出来るのでしょうか？喫煙や食生活などの生活習慣の改善、一部の予防接種（子宮頸がんワクチン）により発癌リスク（がんにかかる危険性）をある程度抑えることはできるかもしれませんがゼロにする事は出来ません。そこで重要になってくるのが“がん”を早期に発見する取り組みです。これが“がん検診”の最大の目的です。しかし日本のがん検診受診率は諸外国と比べて非常に低く、平成 19 年に実施された「国民生活基礎調査」によると男性の受診率は 3 割程度、女性の受診率は 2 割台です。津山市も例外ではなく、平成 21 年度の各種がん検診受診率は約 12%から 24%と低率です。



もちろん“がん”検診を受けたからといって 100%“がん”が発見出来るとは限りません。極々小さな“がん”では 1 回の検査だけでは捉えることが出来ない場合もあります。したがって「去年大丈夫だったから当分は受けなくても良い」と考えて頂くよりも「毎年大丈夫であることを確認しておこう」と考えて頂きたいと思います。前年とのわずかな変化を比較する事が“がん”の早期発見につながるからです。

津山市で受けられるがん検診

肺がん検診：レントゲンを撮る

胃がん検診：白いバリウムを飲んだり、場合によっては胃カメラを行う

大腸がん検診：便を2日間採取して便の中に血液が混じっていないかを調べる

子宮がん検診：子宮頸部を綿棒のようなもので擦りがん細胞がないかを顕微鏡で確認する

乳がん検診：乳房を観察、触ったり、場合によってはレントゲン検査も併せて行う

前立腺がん検診：血液検査を行う

検診期間は平成22年6月1日から平成23年1月31日までです。

これら全ての“がん検診”は津山市内の多くの医療機関で受ける事ができます。検診によって対象となる年齢に違いがあります。また予約が必要な場合もあり、検査によっては一部の医療機関でしか出来ない検査もありますので津山市から配布される資料をご覧ください、事前に医療機関へ電話で確認および予約をして受診して下さい。あわせて特定健診も受けられる事をお勧め致します。



お問合せ先：津山市健康増進課 : 32-2069